



講演を聞いた感想・ご意見

- ・必要な方にはACPを勧めて実施してもらっている。結果を主治医に報告が必要と知った。家族任せにせず、許可をもらってCMも手伝う。おかがき病院訪問診療の先生方には看取りの患者さんにとっても良くして頂き、ご家族から感謝されています。
- ・人生会議は大切だと感じました。まずは「自分がどうしたいか」をしっかりと考える必要があると。
- ・在宅医療で看取りをする事は、ご家族、ご本人が望んでも入院している先生の考え方でしょうか。大きい病院の先生は、看取りをする事に積極的なのか？と考える事がある。
- ・訪問診療の現状が良くわかった。
- ・住み慣れた我が家で最後を迎えたいと、母はいつも言っていました。
- ・在宅の看取りはほんとうにご家族のきずなが大切です。それと他職種の連携も必要で、とても大切だと思っています。
- ・4ヶ月間の看取りの期間：本人はもちろん家族も心身共に大変。訪看はじめサービスが入るのは1日の数時間、精神的なサポートも必要(重要)だと思う。体調の変化があった時、相談できる支援者がいるのが安心。”おひとり様”の場合、(独身、ひとりっ子で家族がいらない)在宅で亡くなることはできますか？
- ・自宅の最期を望む人が増えている。どれだけ生きたのではなく、どう生きるのかが重要。そして、どこでどう終えるのかを考え、自分らしく最期を迎える為に考えたいと思いました。ありがとうございました。
- ・”尊厳死”という事について、自分と妻と娘とじっくり話し合ってみたいと思いました。尚、講師の方がパワーポイントにて説明された内容について、資料配布していただきかった。
- ・どのように死にたいかは、どのように生きたいかにつながると思います。
- ・今日のお話をお聞きし、自宅で最後まで過ごしたいと思いました。

講演を聞いた感想・ご意見

- ・腹水が溜まった後、いい成分のみを体内に戻すことを知り、医療は進んでいると感じました。家で看取られる人は、幸せと思いました。
- ・自宅での看取りは、家族の問題が大きく影響されると思います。看取る側の家族への心構えなど、一緒に考えていく事や、関わる方々との考えが一緒の方向を向いて支える必要を再確認しました。「どの様に生きるか」とても大きな言葉ですね。
- ・本当に行き届いた治療、看取りをしていただけると、今日のお話をお聞きして安心しました。夫も居ない、子供も居ない者として、大変有難いです。
- ・この様な体制があるのだと知りました。子供が精神疾患があるので、話すことはなかなか難しいなと思う。この様な話は、一般にも広く聞いてもらうことが良いのでは。知らない人も多いと思う。
- ・病院以外の看取りでは、自宅、施設での死因の傾向が全く違うことは知りませんでした。在宅看取りを、今後も推進するにあたり、勉強になりました。
- ・家族の絆が深まった看取りの事例が良かったです。こういう風にならないケースも多いと思いますが…。
- ・高齢の母を介護しております。看取り(自宅)に必要な手続きの具体的なものがあれば…広く周知できればしてほしい。
- ・自宅での看取りでチームワークの重要性や情報共有が大切だと思った。
- ・ある年齢(後期)になったら、どのように最後をどのようにむかえたらよいのか、家族で人生会議をしないといけないうのかな？って考えさせられたお話でした。ありがとうございました。
- ・住み慣れた我が家で最期を迎えたいというのは誰もが思うことであるが、現実的ではない。しかし、最期はやっぱり家族に看取られて迎えたい。
- ・人生会議、自分が希望するケア等を受けるために、大切にしていること、望んでいること、どこで、どのようなケア等を受けたいかを自分自身で前もって考え、家族等周囲の信頼する人と話し合い、共有することが大事だと思いました。
- ・人生会議は自分もその時期になったら是非やりたい。その前に自分の思いを決定しておく。超高齢、認知症になった場合、施設死も大きな選択肢。どのタイミングで在宅看護医療に入るのか。24時間介護看護医療が可能なのか。特に夜間のトイレ介護。家族は家に縛られる。自分の時間がなくなる。どう折り合うか。
- ・最近、自宅で看取りを希望する方が増えたと感じている。家族とマグロの解体ショーに行けてよかった。いつも何気んできている事が幸せなんだと気づかされました。
- ・利用者様だけではなく、自分の家族の事も改めて人生の最後をどう過ごすかを大切に考えたいです。
- ・先生が日頃何をされているかがわかりました。
- ・参考になりました。
- ・自分自身の心というか、考えは決まっていて、折りあるごとに子供に話をしている。
- ・末廣先生と連携をとれるように、がんばります。
- ・住み慣れた自宅で最後を終えるために、多様な関わり、チームワークが必要と再確認しました。
- ・私も95歳の母が入院していますけど、おんが病院にもいつもお世話になっています。いまは、私達娘のことも、わからないと思います。

講演を聞いた感想・ご意見

- ・現在義母と同居していますが、当人は認知症もなく、年齢は100歳ですが、持病は心臓病がありますが、非常に参考になりました。
- ・「どれだけ生きてかではなく、どう生きてきたか」この言葉に感動しました。一日一日大切に生きていこうと思いました。
- ・自分らしく生きたい、死にたいはかまわない。しかし、あの世を信じている人々もたくさんいる。この世ですべてを終了する考え方は幸せではない。幸福を追求する生き方を考えるのが一番良いのでは。
- ・人生会議ということ初めて聞かせてもらい、勉強になった。
- ・2025 75歳以上が5人に1人、他人事ではない。
- ・人生会議の大切さを改めて感じました。高齢の父との話し合いもきちんとしなければと思います。
- ・「人生会議」の大切さを考えさせられました。
- ・大変参考になりました。
- ・先生の丁寧なお話で、色々なケースがある事を聞くことができた。
- ・具体例があればもう少し知りたかった。
- ・人生会議という言葉初めて聞きました。高齢者との雑談の中で、人生の終わり方についての話題については、自分の思いを文書で残すことの必要性を伝えたいと思います。
- ・人生会議について、自分が大切にしている事、死後の対応について家族と話し合い理解してもらう事が大事になる。医療についても、自分の要望を理解してもらい、医師に正確に伝えてもらうようにしたい。
- ・人生会議の必要性を再認識した。配布資料の「私の希望表明書」が参考になった。
- ・在宅医療のサポート体制を一考するに参考になりました。
- ・ためになりました。
- ・地域の人、となりの方等と仲良く生活することが必要と思う。
- ・具体的な事もあり、わかりやすかったです。いろいろ考える事が多かったです。
- ・とてもよくわかりました。
- ・人生の最後をどう迎えるかについて、とても分かりやすいお話が聞けて良かったです。家族の絆が深まるきっかけになった事、マグロの解体ショーに参加された事、やりたい事をたくさんさせてご自分らしく生きられたんだなあとうらやましくなりました。離れた地に住む両親が、どう最後を迎えたいのか、今度帰省した際に、ゆっくり話を聞こうと思いました。
- ・母を自宅で看取りました。とてもおだやかで、いい時間を持てたと思っています。
- ・自分自身、親の事も考えて、まだまだいっぱい知らない事が多いなと思いました。
- ・最後はどうすればよいのかわからないし、死んでゆく事の難しさを感じた。お話に出て来た方は幸せな方ですね。
- ・自宅での看取り、家族愛、聞けて良かった。
- ・末廣先生の話は、詳しく分けての説明が良かった。
- ・本人の希望がコロコロ変わる方の対応。家族と本人の想いが多方向で関与を続けても想いの差がうまらないケースの対応。支える人がいないケースなどの看取りのケースを聞いてみたい。
- ・訪問看護があれば、最期を迎えるのに自宅で過ごせるのは幸せと思いました。おひとり様が多いので、近所で支え合えれば良いけど、近所付き合いが希薄になっているので心配です。

講演を聞いた感想・ご意見

- ・死について、真剣に考えた事はなかったが、今回の講演を聞き、具体的に考えなければならない事を理解しました。
- ・最後を迎える時に自分らしく生きてこられたかと思えるか。
- ・色々考える事があるけど、自分の意志を伝えて相談出来る所を調べておこうと思った。
- ・これから先、自分がどうしたいのかをよく考えないといけないなと思いました。
- ・末廣先生のお話はとてもわかりやすく、おかがき病院での事例、とても具体的で良かったです。日本尊厳死協会の自前指示書広めたいですね。以前、とっても健康ランド拝聴しました。
- ・看取りにはチームワークが必要で、家族間の話し合いが大切であるが、最後は本人の意思を大切にすることだと思いました。
- ・私も76歳になり、まずは自分自身の考えをまとめ、次に子供達と人生会議をしようと思います。
- ・本人の思いと家族の気持ちが変わっていたので、自分の場合は大変でした。
- ・大変良かったです。私も73歳、これからの事を色々考える事にします。
- ・私も1人で5年になるが、心不全の持病を持って、時々息苦しさで救急車を呼ぶかと迷う時があるが、周りの方に見物されるのが嫌でマイカーで行き、医師に怒られている。参考にしたい。
- ・最後まで気持ちによりそい、その人らしく生きるサポートがしたいです。ありがとうございました。
- ・後悔のない人生をおくれるように、自分の周りの人達としっかり話し合うことが大切だと思いました。よいお話を聞いてよかったです。
- ・最期を自分らしく迎えるためには、人生会議の必要を感じました。
- ・講演はよかった。
- ・地域で最後まで過ごせて、自宅で死ぬ事が出来る事が私の理想です。
- ・大変深く理解できた。
- ・本人の意向が一番大切となってくるが、自宅で最期を迎えるのに周りの協力も必要となってくると感じた。日頃からどうしたいか、家族や友人、かかりつけ医に話しておくことが大切と改めて感じた。
- ・人生会議、看取りのチームワークを考える良い機会でした。
- ・大きな問題ですが、消防機関も救急業務の中で関係することも多いので、この講演をきっかけに考えていきたいと思います。
- ・在宅看取り、私も家で静かに余生を送りたいので、「やたらに119をしない」を肝に銘じます。
- ・ACPの大切さは業務上分かっているつもりでも、家族(親)のことになると、その難しさを実感しました。親の事を決める際のジレンマはつらく、長い期間悩むことになりました。講演を聞くことで、再度、重要性を認識できました。
- ・自宅で老々介護できましたが、最後、1週間入院になりました。急性白血病でした。
- ・人それぞれに望む最後の迎え方が違う。そしてその方達の希望に添うように支援されているのがわかりました。
- ・人生最後のみとりを、話し合いをしていた方がいいなと今日思いました。
- ・人生会議が、終わりのことを話し合うことではなく、これからどう生きるのかを親しい人と話し合うことだと学びました。毎回、先生の講演を楽しみにしています。訪問診療などで、ご多忙と思いますが、どうぞお体を大切にしてください。ありがとうございました。

講演を聞いた感想・ご意見

- ・今後のことを考えさせられた。
 - ・多くの事を学びました。ありがとうございました。
 - ・高齢化の増える事の認識が新しくできた。在宅を希望しているが、ガンだと緩和ケアかな？と思っています。
- 実例、実際の話をもう少し聞きたいと思いました。
- ・訪問診療部の素晴らしい取り組みを知り、おかがき病院、おんが病院の地域での役割を強く意識することができました。自分の部署でも地域に貢献するという意思を持って職務にあたりたいと思います。
 - ・ご本人が住み慣れた我が家で最後を迎えられれば、それが一番の幸せと思われれます。自分の意思をはっきりと家族へ伝えること、伝えられる家族がいれば本当に幸せです。とても勉強になりました。

映画「PLAN75」を観た感想

- ・前回の講演時に紹介されたので、映画館で観ました。身につまされる問題でもあり、早い時期から自分で決められる事を決めて、家族に伝えようと思いました。現在実行しています。担当している利用者様にも、いずれ来る事なので、方針を決めて家族に気持ちを伝える事を勧めています。
- ・現実すぎて、観るのが辛い気分が減りました。年を取るのがいやになりました。
- ・この映画の様な事態にならない様、取り組みが必要と感じました。
- ・話し相手のいない人生は辛いですね。少しわかりにくいところがありました。
- ・重い内容、病気でなくても死を選ぶこと、死ぬことより難しく厳しいことのように思う。生き続けるのもきついけど、死を選ぶこともきつい。おひとりさまでも、自分らしく自然死を迎えられるような社会になって欲しい。
- ・高齢化社会で考えて、自分に置きかえて考えてしまいました。深く重く切ない気持ちになりました。
- ・ショッキングな内容で、“生きること”の意味を考えさせられました。
- ・生きる事をあきらめさせて、死ぬ事を選択させる制度。フィクションだと思いますが、非常に現実的に思えました。人生をまっとうできる事の意味を、もう一度考えたいと思います。
- ・高齢になるという事に対し、なんとも言えない気持ちになりました。
- ・何がいいかわからないが、死について考えさせられました。
- ・支えられる事の大切さ。年を取る淋しさ。人生の最後ってなんだろうと考えました。
- ・最後に生きる方法がないのは？
- ・怖い内容です。映像はいつか現実になりうる。又、現実には起きている問題もある。人間は怖いです。
- ・この映画のように、人の死がビジネスになる事が怖いと感じました。孤立しないようにできればと。
- ・高齢者の一人暮らしで、自分で死期を決める。せつない映画だった。
- ・とてもよい映画でした。今後の人生を考えるよいものに思えた。
- ・医師と本人、家族の間に十分な信頼関係とコミュニケーションをとることの重要性。自分が望んだことに対し、責任や覚悟を持つこと。支えてくれる人(家族等)を信頼することは、良い結果をもたらすと感じた。
- ・国民を分断させてはならない。こんな時代を将来させてはならない。

映画「PLAN75」を観た感想

- ・考えさせられる内容でした。
- ・先生の解釈があったから、最後はスッキリしました。1人で観たら難しかったです。
- ・ショックが大きかった。でも私は、ちゃんと生をまっとうしたく思う。
- ・苦しくなりました。怖くなりました。高齢者に対しての国の考えは、PLAN75は現実味をおびている。
- ・今の時代背景を表して、問題を多く感じました。
- ・何とも言えない、悲しい映画でした。誰でも最後はむかえなくてはいけないけど、私は子供がいないから姪に頼んでいるけど、何とも言えない悲しいです。
- ・決してあってはならない事業。誰も幸せにならない。人生、いつ幸せがめぐってくるかは分からないのに、それを途中で切ってしまう可能性のある事は、何の為に生きてきたのかわからない。苦があっても幸があっても、それも人生。途中で放棄するべきではない。
- ・とても重い題材と思った。とても苦しい気持ちになった。生死を自分で選択できるplan、それを国が勧めている、自分自身のこれからの人生、最後まで喜んで生きて喜んで死にたいと思った。生かされている生命、大切にしたいです。
- ・人としてどう生きるべきか？死に対しての向き合い方。考えさせられる映画でした。
- ・生きていくとは…考えさせられました。様々な問題提起があり、今後の日本の課題でもあるなと思います。
- ・すごい映画でした。自分だったらどうするか考えました。また、映画がみたいです。リアルでした。
- ・最後は自分らしく死にたいので、PLAN75の制度はいらないと思いました。
- ・老いることは、大きく人生の選択をせまられる現実を知る事になった。生き方の方向を国が決めるような制度は許せない。むしろ手助けする制度を考える。また、大変な仕事がある事も知れた。
- ・いろいろな事を提議していると思う。
- ・長生きすることへの不安、恐ろしさを改めて理解できたように思いました。でも、この映画をみてよかったと感じています。
- ・作成の着眼点、構成、キャスト全てが良い映画だと思います。高齢社会に関する問題、課題について、2050年(多死時代)までに政府や地域で対応が間に合わなければ、残酷な社会に落ち込んでしまう事を痛感しました。
- ・独居老人の淋しさを痛感した。
- ・問題の根元の解決にはならない制度。
- ・怖い映画だと思う。高齢になり社会的責任を果たし終えた人を不要な物の様に扱う社会、その現実気づかない周囲、社会に憤りを覚えます。誰もがいずれ高齢者になるというのに、自分の未来が希望を持ってなくなります。孤独と貧困は誰にも起こりうる問題である。この様な社会では障害者等の弱者が切り捨てられてしまう。
- ・むずかしい。
- ・老人の孤独、貧困とは身近に居ない様に思いました。
- ・怖い映画でした。考えさせられる事ばかり。何かわかりません。人生とは…。
- ・いろいろ考えさせられました。少し難解でしたが、先々はこのような世の中になるのかもという恐怖感がありますね。

映画「PLAN75」を観た感想

- ・高齢者には内容が理解できにくいストーリーでした。
- ・重いテーマを投げかけて終わる映画でした。PLAN通りにはいかない人間の弱さ、あたたかさを感じたり。高齢者を取り巻く孤独と絶望と一筋の希望。末廣先生のおっしゃる通り、みなさんで観る映画ではないかと思います。次回は感動作を…。
- ・フランスの学会での発表で、「人間は病気でも死ぬけれど、孤独でも死ぬ」と新聞記事で見たことがあります。なんとももっていきようのない気持ちになります。
- ・違和感を感じた内容でした。難しいですよね。今まで一生懸命働いて最後は…。自分自身も含めて考えていきたいと思います。
- ・暗い映画。
- ・75歳以上の死を認める制度？怒りがでてくる言葉だった。明るく死を迎えたいと思った。
- ・重い内容でした。理解に苦しみがある。
- ・死に向き合おうとしつつ、葛藤が生じる。孤独と貧困の現実感、家族や友人の多い人には、本当の理解はできないと感じた。国は向き合うべきと思うが、難しいと感じる。
- ・重い映画でした。それぞれ人生があり、大変な道を歩いているものですね。色々考えさせられました。
- ・死に対するとらえ方。私は死を明るくとらえたい。
- ・ファンタジーか現実かわからないけど、孤独の怖さを知った。
- ・難しかったです。映画については、よく理解できませんでした。
- ・長尾和宏医師が「安楽死特区」という本を書かれています、積極的な安楽死が日本でも行われるようになったら…と考えさせられる内容でした。やはり、平穏死、尊厳死が理想ですね。こんな制度が国の施策になったら大変ですね。
- ・大変良い映画で、現実であり得る事ばかりで、少しむなしくなってきました。
- ・高齢者の生きていくことの難しさや、命の期限は他人が決めるものではないこと。最後まで自分らしく生きることの大切さを感じました。
- ・何を訴えているか、よく理解できなかった。
- ・希望ない映画でした。
- ・感動しました。民生委員として、一人住まいの方をもっと見守ります。
- ・ストーリーが判らなかつた。
- ・私は涙が出ました。
- ・「生きる」ということを考えさせられる、とても難しい内容でした。自分より若い人のことも、親のことも、自分のことも、誰もが幸せな人生をおくれるように、いつも考えて話し合っていく必要があると感じました。
- ・老後の貧困は、あってはならないと思う。政治がもっと人にそったものであってほしい。民生委員が寄り添った活動が大切だと感じました。
- ・生きる事の意味を考えさせられる映画でした。前向きに生きる事、私はそうありたいと思います。
- ・内容は重たかったです、決して他人ごとではないと思います。自分の死にかたを考えます。
- ・映画は悲しくて淋しいものですね。私は若い頃、一生懸命働いて1人暮らしができる年金を頂いておりますので良かったです。1人暮らしのサービスがもっとほしいです。

映画「PLAN75」を観た感想

- ・悲しくて。自分で死を選ぶことが現実にあるような気がする。
- ・考えさせられました。
- ・重い。
- ・難しい問題、考えさせられるものでした。重たい内容でした。
- ・「人に迷惑をかけない、かけたくない」という美德とされてきた気持ちにつけこんだ国の政策に対抗するのは、最後は人間の良心(それも若い人の)。
- ・周りに頼る人がいない場合、日常の話し相手もない中でどう過ごすことがいいのかと考えさせられた。人の力を借りながらも生きていくのに限界がある人もいる現在と思う…。
- ・尊厳死とは？独居老人の方々の生活とは？政治(国・県・町)自治団体と個(各家庭or個人)との関わり、実態がわからず、どう寄り添うかが課題である。
- ・なかなか理解に難しい映画でした。消化不良のような何？と思いました。
- ・様々な立場を思い、考えさせられる映画でした。最期をどうむかえるか、考えるきっかけになりました。
- ・働く場所がなくて、収入がなくて、安楽死を選んだのかな。身寄りが無いのがさみしいことにつながる？孤独死を守るのかな。
- ・「本当に」望む最後とは、考えさせられました。そのためにどう生きるかも。
- ・安楽死のことは考えさせられました。
- ・とても考えさせられました。
- ・難しかった。
- ・むずかしくてあまり理解できなかった。
- ・大変むずかしい問題だなと思いました。
- ・重たいですね。PLAN75を選べる人選べない人もいそう(良いプラン)。逆にPLAN75しか選べない人にとっては？プランしかない人は生きたい人なのかなと思います。
- ・よく理解できなかった。
- ・とても恐ろしかったです。観ることができて良かったです。ありがとうございました。
- ・複雑な思いで観ました。現在は映画の様な制度はないと思いますが、いつかはやって来る時代もありかな…。

在宅総合支援センターへの要望、遠賀中間地域における在宅医療・介護連携等についてのご意見など

- ・訪問診療ができる病院が少ない様に感じますので、増やしていただき、介護と連携に支えていける様にできれば良いと思います。
- ・徐々に研修会を受けれる様になり、コロナでできなかった分、今後も楽しみにしています。また、医療介護の連携についての情報収集などの場を増やしてほしい。
- ・また映画があるといいと思います。あまり重い内容は…。感動したいです。
- ・内容について詳しく聞きたいです。

在宅総合支援センターへの要望、遠賀中間地域における在宅医療・介護連携等についてのご意見など

- ・私の母も彩月鞍手で末廣先生の訪問診療を受けています。ありがとうございます。
 - ・今回の講演や「PLAN75」に参加させて頂いた感想について、やがて訪れる後期高齢者→死、年を追うことに究極の選択に迫られるかも知れない。その時に冷静かつ後悔のない選択ができればなと思います。
- ありがとうございました。
- ・土日祝日も何らかの対応をして頂きたいです。
 - ・いずれお世話になります。よろしく願い致します。
 - ・あの世を信じていない人がほとんどだけど、あの世があるよと肉体は死んでも自分の存在が消える事がない事を伝える事は、死にゆく人の希望となる。
 - ・たびたび、お世話になります。
 - ・独居、身内の居ない方の死後の支援も聞きたい。
 - ・在宅総合支援センターに、何かあれば相談したいと思っています。福祉用具、その他どんどん介護保険も変わっていているので、それも研修が必要と考えています。
 - ・「最後を迎える」にはを考える機会や話し合う場を設けていただきたい。
 - ・仕事で大変お世話になっております。おんが病院、おかがき病院、訪問診療、訪問看護に支えられ、高齢者の方々の生活が成り立っていると思います。これからも地域医療の支え、よろしく願います。マグロの解体ショーにつきあわれる末廣先生ステキです。
 - ・出前講座等願います。ありがとうございました。
 - ・今の所はどうすればいいのかわからないので意見はないですが、色々相談出来る機関を町報や、色々な誌で知らせる事にして下さい。
 - ・集客…もっと先生のお話しも、このような映画も、多くの人に聞いてほしいと思います。運転免許返納で会場まで足を運べる人が限られます。録画でも良いので、各公民館単位でも先生のお話しが伝えられたらと思いました。
 - ・これから相談に行きます。
 - ・今日は参加して良かったです。ありがとうございました。
 - ・また、参加したいです。
 - ・地元の消防機関ですが、協力連携して今後ともよりよい方向を考えたいと思います。
 - ・貴重な講演会、ありがとうございました。
 - ・これからも患者さん、ご家族の意向意志に添った丁寧なケアを心がけていただき、その人らしい生き方、最期の迎え方を支えていただければと思います。
 - ・最近、98歳の母が大変お世話になりました。ありがとうございました。
 - ・お金がない人のサポートの仕方を提示して頂きたい。
 - ・また参加させていただきたいです。